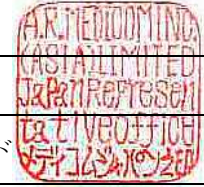


製品安全データシート

制定日：2020年 4月 8日

1. 製品及び会社情報

製品名	メディジェル		
製品コード	JAG010021, JAG010022, JAG010023		
会社名	A.R. メディコム・インク・アジア・リミテッド		
住所	〒650-0033 神戸市中央区江戸町96番地ストロングビル801		
電話番号	050-5525-9181	FAX番号	078-327-2112
管理番号	MJ20-04		



2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物		
主な成分 (CAS No.)	エタノール (64-17-5)	66～76%	
	水		

3. 危険有害性の要約

人の健康に対する 有害な影響	通常の使用条件で無害である。
環境への影響	通常の使用条件で無害である。
物理的及び化学的危険性	引火性。

4. 応急措置

吸入した場合	速やかに新鮮な空気の風通しの良い場所に移し安静にする。
目に入った場合	コンタクトレンズ装着の場合は外す。 大量の流水で裸眼を15分間洗浄する。 充血、目の痛み、視覚障害等何らかの異常があった場合には医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水で口の中を洗浄し安静にする。 飲み込んだ場合は無理に吐かせない。 その後病院に行くか医師の処置を受ける。
その他	使用中、目に異常を感じる、咳き込む、気分が悪くなる、等体調に異常を感じた時には直ちに使用を中止してその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後速やかに医師の処置を受ける。

* いずれの場合も医師への受診時には製品または製品安全データシートを提示する。

5. 火災時の措置

消火剤	泡又は粉末消火剤を使用する。 好ましくは極性液体火災用の泡消化剤、二酸化炭素を含む泡/粉末消化剤。
火災消火時の注意	出火元付近に容器がある場合は、加熱による容器の加圧破裂を避けるために、可能であれば容器を火元から遠ざける、もしくは放水等で冷却をする。 高温になると容器が破裂する恐れがあるので、消火活動には十分な距離をとる。 火災時に発生した煙を吸引しない。 消火活動の結果生じる流動物を下水道、河川等の公共水域へ排出しないようにする。 消火作業では保護具を着用する。
危険有害性物質	火災時に有害性を有する分解生成物の発生が起こりえる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には保護具（保護メガネ、安全靴、保護マスク等）を着用し、風下では作業を行わない。 保護具非着用者を近づけない。 滑って転倒しないように注意する。 換気を行い、引火する可能性のある物品及び静電気等による発火性の物品を漏出現場から遠ざける。
環境に対する注意事項	雨水溝、河川、海洋等に多量に排出されないように注意する。 自然環境下（水系、地面・地中、植生等）に放出しない。
除去方法	風下にいる人を避難させる。 漏出場所への関係者以外の立入を禁止する。 非可燃性の吸収材（砂、バーミキュライト、珪藻土等）で吸い取ったのちショベル等で廃棄容器に廃棄する（その他の廃棄物と混ぜない）。 漏出した箇所を水で洗浄し非可燃性の吸収材（砂、バーミキュライト、珪藻土等）で吸い取る。吸い取った吸収材はショベル等で廃棄容器に廃棄する（その他の廃棄物と混ぜない）。 漏出したものを再使用しない。 吸い取った吸収材の廃棄は「12. 廃棄上の注意」に基づき処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	換気された場所で扱う。 飲み込んだり吸引したりしない。
-----	---

	吸引及び目との接触を避けるため保護具（保護メガネ、保護マスク等）を着用する。 静電気の放電や火花を発する恐れのある物品と共用しない。 引火性の物品との距離を保つ。 ラベルに表記した取扱い方法を守る。 体調の悪いときには使用しない。 他の薬剤と混合しない。 容器を転倒、落下させたり、容器に衝撃を与えたりしない。
保管	容器を密栓する。 他の容器に移し替えない。 倒立や不安定な姿勢で容器を保管しない。 大量に保管する場合は皿状のパン等の上に積むなど漏洩防止の策を講じる。 5～25℃の乾燥した、よく換気された条件で保管する。 ラベルに記載の使用期限を過ぎて使用しない。 乳幼児・子供の手の届かないところに保管する。
輸送	常温・常圧で輸送する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	換気。 洗浄用の水道設備。
保護具	目、衣服付着、口・鼻からの吸引を避けることのできる適切かつ清潔な保護具（保護メガネ、安全靴、保護マスク等）を着用する。 保護具は作業する場所から離れた清潔な場所に保管されたものを使用し、また保管する。 保護手袋に傷、亀裂の兆候等がある場合は新品に交換しておく。 目、口中等の洗浄のため洗浄設備が近辺にあること。

9. 物理的及び化学的性質（本体）

外観	無色粘調性ゲル
臭気	エタノール臭
pH	6.5～7.5
沸点	78℃
重量密度	0.84～0.87（水を1とした場合）
溶解度	水に溶解
粘度	20,000～40,000 CP
引火点	－
爆発限界	－

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取り扱い条件（屋内、常温）において安定である。
禁忌物質及び条件	他の薬剤と混ぜない。 加熱しない。 静電気放電や火花を発生する恐れのある物品とは保管・使用しない。
有害分解生成物	高温にて有害な分解物（煙霧、一酸化炭素、二酸化炭素等）が生成する可能性がある。

11. 有害性情報

吸入した場合	気道に刺激を惹起する可能性がある。
目に接触した場合	吐き気と共に結膜のかゆみ、充血を惹起する可能性がある。
経口摂取した場合	消化器系に刺激・腹痛・頭痛、吐き気等を惹起する可能性がある。

12. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たり、人体に影響を及ぼしたり、自然環境（大気、水系、地面・地中、植生、動物等）を汚染することのないよう留意する。 下水道以外の河川等、公共水域への大量の排出はしない。 少量の場合は、水で十分に希釈して廃棄する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
容器	容器のラベルを損傷しないようにする。 使い終わった容器は水で十分に洗浄後、国、県、市町村の法令に従って廃棄する。

13. 輸送上の注意

水濡れ、異物混入、破損等のないように積み込み、荷崩れの防止を行う。
火気厳禁。直射日光や高温下で放置しないこと。
国連番号1170（エタノール又はその溶液（アルコール含有率が24容量%以下の水溶液を除く））；
英語名 Ethanol (Ethyl alcohol) or Ethanol solution (Ethyl alcohol solution) に準じる。

14. 適用法令

消防法	該当する（第四類 引火性液体 アルコール類 エチルアルコール）。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
労働安全衛生法	該当する（危険物（引火性の物）、 通知対象物 第61号 エタノール $\geq 0.1\%$ ）。
PRTR法	該当しない。
化審法	該当しない。

15. その他の情報（記載内容について）

- 本件はJIS Z7250に準じて作成しております。
- 記載内容は現時点で入手できる情報に基づいて作成していますが、安全性を十分に保証するものではありません。内容は法令の改正或いは新しい知見により改訂される場合があります。
- 注意事項は、通常の取り扱いについて記載しておりますので、特別な取り扱いにおける安全の確保は、用途・用法に適した方法でお願いします。

以上